

レースの裏側に迫る! SUPER GT キーマンインタビュー

トラックエンジニア (SGT/SF#65)

かとうゆうき
加藤祐樹

埼玉県出身 / 2014年入社
2020年からSGTチーフエンジニアに。



トラックエンジニアは、担当するマシンを、どんな風に仕立て、走らせるかを考え、実行する役割です。車両のセットアップや走行プラン、レース戦略を考え、メカニックの皆さんやドライバーに指示を出します。

レースに勝つため、エンジニア全員で走行データの分析から得た知見や、車両の諸元から性能を最大限に引き出す理論を追求し、マシンの設定や走行プランを作り上げます。しかし、理論で判る事は一握りです。それはデータからは解明できない事が多いという事に加え、人間がドライビングしている、という要素も大きく関係してきます。パフォーマンスエンジニアは主に理論・研究・分析を行い、トラックエンジニアはそれらの要素を元に、判らない事もひっくるめて勝つための決断を下します。NAKAJIMA RACINGは、理論や分析を蓄積しながら、階段状にレベルアップを続ける事を重視しています。全てがスムーズに回り、ライバルより成長速度が上回って初めて勝つ事が出来るのです。

毎月という頻度でレースが開催されるので、努力して準備した事が直ぐに結果として現れるという部分にはやりがいを感じます。参加するチーム全員が全力で努力している中で、自分達の努力が問われると言うのも醍醐味です。



レースの裏側には、エンジニアやメカニックといったプロフェッショナルの存在が欠かせません。レーシングカーが0.1秒でも速く走るように、彼らは日々奮闘しているのです。

そこで今回は、Modulo Nakajima Racingのキーマン2人のインタビューを通じて、エンジニアやメカニックの仕事に迫り、その重要性や魅力についてみなさんにご紹介したいと思います!

チーフメカニック (SGT)

あさみくにひこ
浅見邦彦

東京都出身 / 2004年入社
メカニック歴20年以上の大ベテラン。
チーフメカニックとして信頼も厚い。



チーフメカニックは、レーシングカーを組み立て、エンジニアの指示通りに調整し、走行に向けての段取りや管理を担います。それらを着実に遂行するために、チームメンバーをリードする役割も重要です。

レースの魅力は、ルールの枠組の中で他のチームと競い合うことです。そして、その緊張感と興奮の中で、最終的な順位が確定する瞬間を迎えるのは、何よりもやりがいを感じる瞬間です。

特に注目してほしいのは、レースを戦う上で、様々な職種の人々が力を合わせて一つの目標に向かって努力している点です。メカニックやエンジニアだけでなく、たくさんの人々が一丸となって、効率的に作業を進め、最高の結果を出すためにコミュニケーションを図っている姿があります。モータースポーツはチーム戦です。ぜひチーム一丸となって戦う姿にご注目ください。

